

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	県土づくり本部	課名	河川砂防課	事業名	ダム施設修繕費
種別	ダム	事業区分	維持管理（水質保全）		

事業目的	伊岐佐ダムでは、水質悪化に伴う黒色濁りに非常に苦慮しているところであり、特に下流の見帰りの滝は「日本の滝100選」にも選ばれており、滝壺付近においては、水しぶきで衣服が変色するほど深刻である。そのため、貯水池循環装置を設置して水質改善を行うことで、水の安全・安心の確保を図ることを目的とする。
------	--

定性評価	自然環境保全	ダム貯水池内の水質改善装置であるため、自然環境への影響はほとんど無い。
	生活環境対策	水質の改善が図られるため、濁りの改善や下流での水道水処理施設の処理費用低減が見込まれる。
	コスト縮減策	より経済的な水質改善対策工法を検討し採用する。
	その他	清流をよみがえらせ、観光地の集客増が図られる。

注）（ ）内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費		公共単独の別	完成予定年度	評価視点：位置付け						評価視点：必要性・効果						評価視点：実施環境						評価	判断						
		市町村名	大字等	総事業費 (百万円)	H23 要望額 (百万円)			評価指標：水質調査（水道水）		評価指標：河川維持流量の補給		評価指標：ダム湖の利用		評価指標：環境基準		評価指標：悪臭の発生		評価指標：アオコの発生		評価指標：濁りの長期化		評価指標：市町村の協力体制		評価指標：地元要望				評価指標：浄水場、魚類への影響		計			
								水質調査（水道水）	小計	河川維持流量の補給	小計	ダム湖の利用	小計	計	環境基準	小計	悪臭の発生	小計	アオコの発生	小計	濁りの長期化	小計	計	市町村の協力体制	小計			地元要望	小計		浄水場への影響	魚類への影響	小計
								(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(80)	(60)	(60)	(20)	(20)	(10)	(10)	(10)	(10)	(100)	(60)	(60)			(20)	(20)		(10)	(10)	(20)
1	伊岐佐ダム	唐津市	相知町伊岐佐	26	26	単独	23	60	60	20	20	0	0	80	30	30	20	20	0	0	10	10	60	60	60	20	20	0	0	0	80	ABA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	県土づくり本部	課名	河川砂防課	事業名	ダム施設修繕費
種別	ダム	事業区分	維持管理（施設）		

事業目的	県管理のダム施設において、老朽化または破損により本来の機能を果たしていない施設や機能が低下している施設等、ダム管理に支障を来す恐れがある施設の修繕・改良・更新を行い、安全・安心の確保を図ることを目的とする。
------	---

定性評価	自然環境保全	既存のダム管理設備老朽化に伴う設備の更新等を行うため、自然環境への影響はほとんど無い。
	生活環境対策	修繕等により施設の延命化が図られる。排ガス対策型機械を使用し大気汚染に配慮する。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注）（ ）内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費		公共単独の別	完成予定年度	評価視点：位置付け				評価視点：必要性・効果					評価視点：実施環境					評価	判断		
		市町村名	大字等	総事業費 (百万円)	H23 要望額 (百万円)			評価指標：点検 診断結果による 判定		評価指標：点検 診断結果による 判定（対象機 器、施設の重要 度）		評価指標：構造上の課題			評価指標：破損 錆の目視判断		評価指標：想定 被害区域の状況		評価指標：操作 性による判定						
								専門業者による診断 点検報告	小計	対象機 器の重 要度	小計	計	設置年 からの 経過	前回修 繕から の経過	小計	破損箇 所の有 無及び 錆の度 合い	小計	計	土地家 屋等の 保全	小計	操作性			小計	計
1	伊岐佐ダム	唐津市	相知町伊岐佐	14	14	単独	23	60	60	40	40	100	60	20	80	20	20	100	60	60	40	40	100	AAA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	県土づくり本部	課名	河川砂防課	事業名	ダム施設整備交付金
種別	ダム	事業区分	維持管理（施設）		

事業目的	竜門ダムは、有田川中流部の支川である広瀬川の上流に位置し、洪水調節、水道用水、流水の正常な機能の維持を目的に昭和50年度に完成した。毎年、ダム管理設備は保守点検を行い、動作確認、不良個所の取替等を実施し、設備の維持管理に努めているが、設備の不具合や故障が毎年増大している。このことから、地域住民の安全・安心を確保するには、確実に迅速なダム操作ができるように老朽化した設備の更新・補修・改良、システムの標準化を図る必要がある。このため、ダム施設整備交付金事業を実施することによって、ダム管理の安全性・信頼性の確保、効率化併せてトータル管理コストの縮減を図るものである。
------	---

定性評価	自然環境保全	既存のダム管理設備老朽化に伴う設備の更新等を行うため、自然環境への影響はほとんど無い。
	生活環境対策	修繕等により施設の延命化が図られる。排ガス対策型機械を使用し大気汚染に配慮する。
	コスト縮減策	各種局舎の構造をパネル組立式にする。また、ダムコンピューターの新仕様に沿った、汎用性の機器による更新を行いコスト縮減を図る。
	その他	

注）（ ）内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費		公共単独の別	完成予定年度	評価視点：位置付け				評価視点：必要性・効果					評価視点：実施環境					評価	判断		
		市町村名	大字等	総事業費 (百万円)	H23 要望額 (百万円)			評価指標：点検 診断結果による 判定		評価指標：点検 診断結果による 判定（対象機 器、施設の重要 度）		評価指標：構造上の課題			評価指標：破損 錆の目視判断		評価指標：想定 被害区域の状況		評価指標：操作 性による判定						
								専門業者による 診断点検報告	小計	対象機器の重 要度	小計	計	設置年 からの 経過	前回修 繕から の経過	小計	破損箇 所の有 無及び 錆の度 合い	小計	計	土地家 屋等の 保全	小計	操作性			小計	計
1	竜門ダム	有田町	広瀬山	940	170	公共	26	40	40	40	40	80	60	20	80	10	10	90	60	60	20	20	80	AAA	I